

県指定史跡甲府城跡

くろがね

もん

鉄門



山梨県

山梨県教育委員会

鉄門

— その姿かたち —

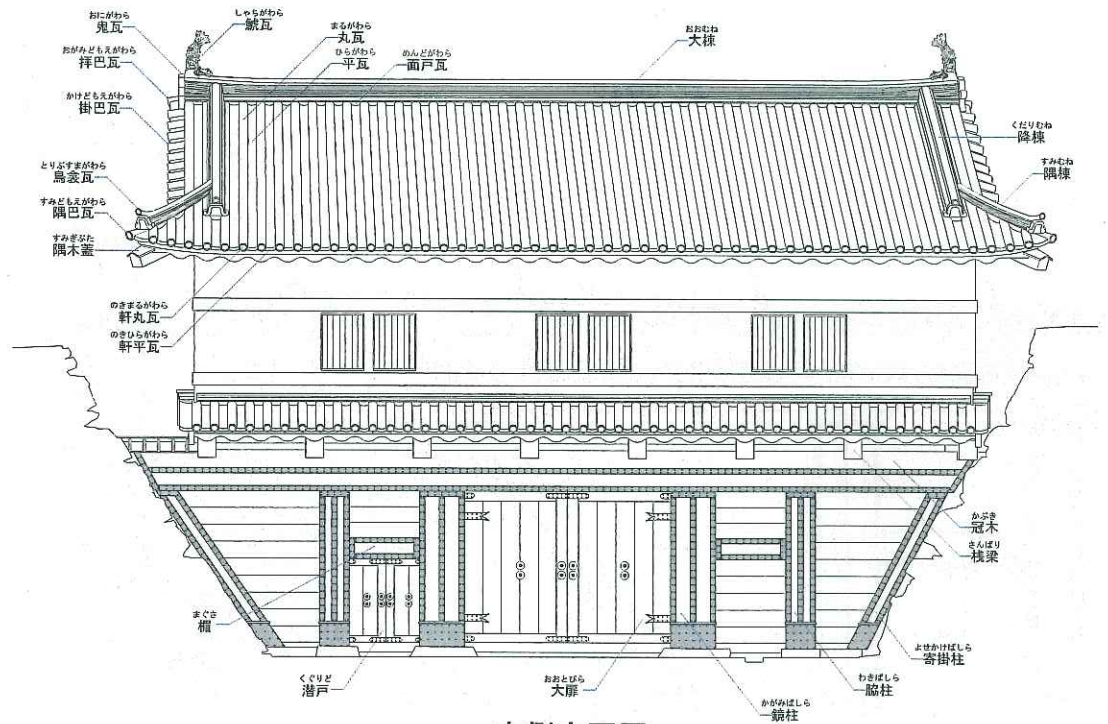
ごあいさつ

鉄門は2階建ての櫓門として本丸の南側に建築され、明治初年まで存在したことが歴史資料などにより確認されています。今のように周辺に高層建築物がなかった頃は、鉄門は甲府城下から更に立派に見えていたことでしょう。

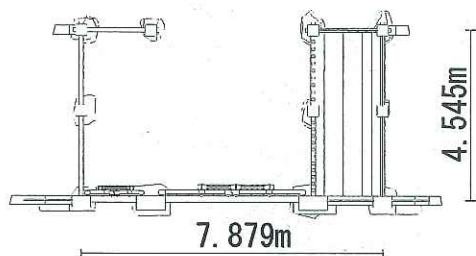
県では、鉄門を復元し甲府城跡に歴史的風格を持たせることで、更なる利用促進に繋げることを目的として、伝統的な工法によって、史実に基づいた鉄門の復元整備を平成22年からおこなってきました。

竣工に当たりまして、関係各位の御協力と御尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも県政の推進に対して特段の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

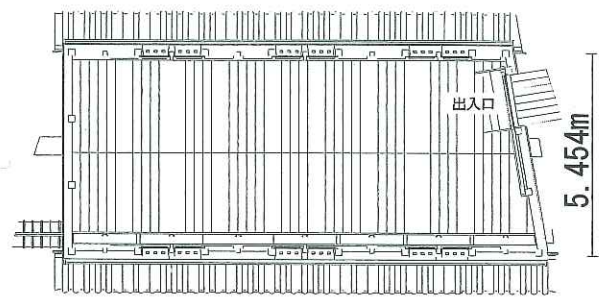
平成25年1月10日



南側立面図



一階間取り図



二階間取り図

※間取り図は、上が北側

復元工事の様子



土居葺き



ちょうな
手斧掛け



鯨瓦製作



瓦葺き



左官（上塗り）

工事概要	事業名	県指定史跡甲府城跡鉄門復元整備事業
	名称	県指定史跡甲府城跡（都市公園舞鶴城公園）
	設計者	（財）文化財建造物保存技術協会
	工期	平成22年9月～平成24年12月
建物概要	規模	三間一戸潜戸付渡櫓門 木造、入母屋造、本瓦葺、正背面庇付、一階東側番所付 一階：桁行7.879m、梁間5.454m 二階：桁行 正面12.726m、背面11.817m、梁間5.454m 延床面積75.19㎡、建築面積66.93㎡、軒面積116.48㎡
	基礎	遺構として残存している礎石を再利用しながら、補足的な鉄筋コンクリート基礎を追加する
	外部仕上	一階板壁。二階大壁、小舞下地、土壁、白漆喰仕上
	内部仕上	前面真壁。漆喰仕上
	屋根	本瓦葺

主要材料

木材

樹種	主な使用箇所	使用数量(m ³)	産地
けやき 樺	鏡柱、脇柱、寄掛柱、冠木、鏡柱筋壁板等	8.5	岐阜県 長野県
ひのき 檜	控柱、寄掛柱、1階貫、2階柱、椽梁、棟木、 庇破風板、番所根太、庇出桁、石落蓋受木、 壁板、番所床板、2階床板等	81.8	奈良県
杉	庇垂木、庇垂木掛、庇瓦座等	21.4	山梨県
松	冠木梁、屋根梁、牛梁、繫梁	9.3	岩手県 福島県
合計		121	

土壁材

名称	
竹材	間渡竹、小舞竹とも径30mm内外の秋伐りの真竹
縄	大壁小舞縄9mm、下げ縄9mm、 斑直し縦縄9mm程度、斑直し横縄6mm程度
荒壁土	夾雑物のない良質の粘土
中塗土	荒壁土で5mm篩(ふるい)を通過したもの
砂	荒目勝の川砂
すさ	荒壁用は打ち藁を3~9cmに切断したもの 中塗用は揉みすさ、上塗用は晒麻すさ
石灰	消石灰、貝灰
のり	銀杏草(ぎんなんそう)または角又(つのまた)

瓦

軒平瓦	235 枚	丸瓦	1,950 本	奈良県
軒丸瓦	237 本	鬼瓦	10 個	
平瓦	4,850 枚	鯨瓦	2 個	

伝統的技法の関係者

工種		氏名	住所	
基礎工事	藤造園建設株式会社	荏本 久	神奈川県横浜市	石積技能者
木工事	株式会社石川工務所	井上 修	山梨県甲州市	一級技能士
左官工事	深澤工業所	深澤 俊雄	山梨県山梨市	一級技能士
屋根工事 (本瓦葺)	橋本瓦葺工業株式会社	橋本 栄一	奈良県奈良市	一級技能士
		橋本 浩至		一級技能士
		橋本 貴至		鬼師(瓦作製)
建具工事	栄建具工芸	横田 栄一	長野県長野市	一級技能士
		松林 節男		一級技能士